

いまやろう！



災害時にどこに避難するか決めよう

ハザード
マップを見る



自宅の周囲
を確認する



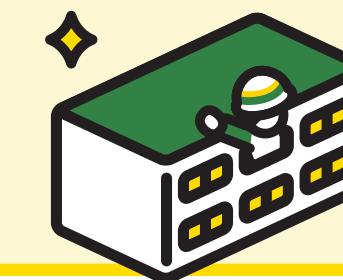
自宅が安全

自宅が安全ではない

災害が発生した時の行動

自宅にとどまる（在宅避難）

在宅避難に役立つグッズを準備しておこう



知人の家に避難

避難することを事前に知人に連絡しておこう



避難所に避難

避難所生活に役立つグッズを
準備しておこう



自分・家族を守る

災害時にどこに避難するか決めよう

災害のあと、自分の家で生活することを「在宅避難」と言います。「在宅避難」できるかどうかは、自分で調べることができます。

まず、自分の家が安全な場所にあるかどうかチェックしましょう。

● ハザードマップを見る

家のある場所に色がぬられていたら、危険です。在宅避難はできません。

● 自宅の周囲を確認する

色がぬられていなくても、家が「周囲より低い所にある」ときや「崖や山のすぐ近くにある」ときは、危ないです。

「在宅避難」ができない場合は、知り合いの家か避難所に避難します。知り合いの家に避難したければ、その知り合いとは日ごろから

よく相談しておきましょう。また、「避難所で役に立つもの」をリュックに入れて、日ごろから用意しておきましょう。

「在宅避難」ができる場合も、電気やガス、水道などが止まってしまうかもしれない、「在宅避難用グッズ」を用意しておきましょう。

【いまやろう！】

1. 自分の家が安全な場所にあるかどうか、確認しましょう。

2. 災害が起こったときにどうするか、決めておきましょう。

☞ こちらも CHECK : 「生活を守る」①~⑨、「自分・家族を守る」⑥~⑧